

目指す学校像

明日の登校を
楽しみに
できる学校



自主・自律

敬愛

協働

鶴 中 だ よ り

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより

第8号

2026年9月1日発行

町田市立鶴川中学校



1 2学期始業式講話

校長 大石 眞二

【今日から2学期】

皆さん、おはようございます。いつもより少しだけ長かった夏休みが明け、こうして皆さんの元気な姿を揃って見ることができ、大変うれしく思います。

この夏休み中、皆さんも様々な出来事を通じて胸を躍らせたことと思います。スポーツの世界では、バレーボールアジア選手権2026や高校野球夏の甲子園大会が開催され、日本や世界のトップ選手たちが繰り広げる熱戦や諦めない姿に胸を打たれた人も多かったのではないのでしょうか。また、8月中旬には、新月の暗い夜空のもとでペルセウス座流星群が美しく輝くなど、自然の神秘に触れる機会もありました。そして何より、勉強や部活動、ボランティアなど、皆さん自身がそれぞれの場所で限界に挑み、努力を重ねた充実した夏休みだったことでしょう。猛暑の中、補習や部活動で顔をよく見た人も多かったです。継続は力なりと言います。ぜひ2学期も頑張ってください。

さて、2学期のスタートにあたり、皆さんに伝えたいことが2点あります。

【災害への備えと防災意識の向上について】

本日、9月1日は「防災の日」です。今日はこの後、非常時に備えた「集団下校訓練」を実施します。なぜ9月1日が「防災の日」に定められているか知っていますか？ 今から100年以上前の1923年9月1日、関東地方を大きな揺れが襲った「関東大震災」が発生したことに由来しています。また、この時期は「二百十日（にひゃくとおか）」と呼ばれ、昔から台風が多く襲来する厄日ともされてきました。災害への認識を深め、万が一に備えるために制定された大切な日なのです。

この夏休み中も、熊本地震や千葉での豪雨など、全国各地で大きな自然災害が相次ぎました。熊本県は2016年にも大きな地震で被害にあったばかりです。また、千葉県では農作物の被害も甚大ですが、水没した車が1万台規模に達するのではないかととも言われており、その被害の大きさに改めて驚かされます。改めて被災された地域の方々にお見舞い申し上げます。さらに、7月18日の終業式のゲリラ豪雨もそうでしたが、私たちの鶴川中学校区においても、激しい落雷と停電が発生し、身近なところにも災害の危険が潜んでいることを実感したはずです。

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。「自分は大丈夫」と過信せず、「防災の日」という節目と集団下校訓練を契機として普段からの防災意識を一段と高め、いざというときの備えや行動について今一度しっかりと確認しておきましょう。

【2学期の行事と皆さんの更なる成長について】

2学期は、今週土曜日に控えている文化祭（観て見て鶴中）をはじめ、合唱コンクールを行う音楽祭など、保護者や地域の皆さんをお迎えする行事が多く予定されています。さらに、修学旅行や職場体験といった、学校の外で学ぶ貴重な体験学習も目白押しです。AI全盛の時代にこそ、人間が協力して生み出すものの大切さが際立ってきます。また、バーチャルで見ることができるからこそ、本物を自分の目で見て「感じる」ことが重要になってきます。先生も7月末に富士山登頂にチャレンジしてきました。途中の山小屋で雑魚寝をして、朝1時からご来光を目指して9合目の3600メートルまでは頑張りましたが、あと176メートルという最後の最後でどうしても足が動かなくなってしまいました。無理をすれば登れたかもしれませんが、自力で下山できなくなってしまうと考え、涙をのんで頂上に行くのを断念しました。しかし、5合目から9合目までの景色、遠くから見る富士山とは異なるホンモノの富士山の思い出は一生の思い出です。ぜひ皆さんにも、協働の体験と実際の経験を通じて様々な思いを深めてほしいと思います。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、夏休みに自分の目標に向かって努力した日々によって、皆さんは確実に一歩前進しました。その努力した自分に自信をもってください。行事や体験学習の一つひとつに全力で取り組み、仲間と協力しながら、更なる大きな成長を遂げてくれることを強く期待しています。

2 表彰されました！

○吹奏楽部：第66回東京都中学生吹奏楽コンクールB組 銅賞 おめでとうございます！

3 クロムブックの取り扱いについて

9月1日（火）のテトル配信でもお伝えしましたが、クロムブック端末の扱いについて以下のとおりお願い申し上げます。水没等による故障を防ぐため、よろしくお願いします。

○雨天が予想される場合、又は雨が降っている場合は、原則として端末を自宅に持ち帰らない（自宅から持ってこない）で、雨が降っていないときに持ち運びするようにしてください。止むを得ず端末を持ち帰る場合は、防水バッグに入れて水に濡れない手立てを講じてください。傘や防水でないバッグへの保管程度では、水没を完全に防ぐことはできません。

○水濡れが発生した場合の対応について

端末が濡れてしまった場合は、故障の悪化を防ぐため、以下の手順でご対応ください。

- （1）**電源を切る** 水濡れ発生後、直ちにシャットダウンします。この際、ふたを開けてしまうと通電してしまうため、シャットダウンはふたを閉じた状態で行ってください。
- （2）**周辺機器の取り外し** 電源アダプター等の周辺機器を全て外します。
- （3）**水分の拭き取り** 乾いたタオルで表面や隙間の水分を丁寧に拭き取ります。
- （4）**5日間放置** 内部を完全に乾燥させるため、電源を入れずに放置します。
- （5）**故障申請** 5日経過後も不具合がある場合、端末を学校に提出してください。